

「輝け！三成小太鼓」

本単元で育成する資質・能力

思考力・表現力・判断力，主体性・積極性，自己理解

1 単元のデザイン

本単元の目標

三成小太鼓の演奏を通して，自らの課題を知り，よりよい演奏をするために練習を工夫しながら，伝統を受け継ぐ一人としての自覚をもつことができる。

児童について

本校では，毎年6年生が和太鼓演奏に取り組んでおり，秋には学習発表会を始め，地域の祭りや行事で演奏を披露している。三成小の伝統の一つであり，6年生になったら太鼓に取り組むのだという意識はあり，楽しみにはしているものの，どのような演奏をしたいのか，どんな力を身に付けたいのかといったなりたい自分像に対する意識は希薄である。なぜこの学習に取り組み，どんな力を付けたいのかを自覚しながら学ぶことで愛校心や自己肯定感を深められると考え，本単元を設定した。

本単元で身に付けたい資質・能力

【思考力・判断力・表現力】

- これまでの経験と関連付けたり互いの考えを比較したりして，よりよい演奏をするためにはどうしたら良いかを考えることができる。

【主体性・積極性】

- よりよい演奏をするために練習の手立てを工夫しながら，意欲的に取り組むことができる。

【自己理解】

- 三成小の伝統を継承した一人であることを自覚するとともに，誇りを持ち次代につなげることが大切であると気付くことができる。

教材について

「三成小太鼓」は，20年ほど前に本校で6年生の総合的な学習として取り入れられ，地域に寄付された和太鼓を用いて代々継承されている。地域に支えられ，地域に還元する活動として敬老会や神社の奉納太鼓でも披露し，喜ばれている。外部講師にも指導を仰いでおり，一定のレベルでの演奏を毎年しているため，学習発表会等で代々の6年生の演奏を見ている児童にとってはあこがれである。また，演奏の最後には5～10分程度，自分達でリズムを創作し，演奏する部分があり，児童の意欲を駆り立てる一方で，うまく演奏できるのか，不安を覚える児童もいる。「三成小太鼓」を継承し，さらに次の学年へ引き継ぐことで，学校や地域への愛着心や誇りを持たせることができる。

指導について

本単元の指導において，主体的な学びの充実を図るために，次の2点を工夫する。

第1は，小単元1において，自分達だけでの練習を踏まえ，より良い演奏にするための方法として外部講師に指導依頼をする方法があることに気付かせることによって，外部講師からの指導が当然ではなく，自発的なものであるという意識を持たせる。

第2は，思考ツールの活用である。話し合いの内容を視覚化するために，KJ法やXYチャートを活用し，他者との類似点や相違点を見付け，仲間分けすることで共通認識を図り，深い学びを実現する。

2 単元の評価規準

資質・能力	学習方法に関すること	他者や社会との関わりに関すること	自分自身に関すること
	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	自己理解
評価規準	○これまでの経験と関連付けたり互いの考えを比較したりして、よりよい演奏にするためにはどうしたら良いかを考えている。	○よりよい演奏にしようという意欲を持ち、取り組みを工夫しながら、友達と共に課題を改善しようとしている。	○三成小の伝統を継承した一人であることを自覚するとともに誇りを持ち、次につなげて行こうという思いを持っている。

3 単元構想図（単元計画と評価）

本単元の学習の流れ（全 70 時間）

〈単元の入り口の意識〉

5年生の最後に、6年生に太鼓について教えてもらったけど、まだどんな発表にしたいかはイメージができていない。でも、学習発表会ではこれまでの6年生を超えるような演奏を披露したいな。

次	学 習 内 容	評 価			
		思 判 表	主 積	自 理	評 価 規 準
一	〈小単元1 はじめよう！三成小太鼓〉(11時間) 【課題の設定】 ・昨年度の6年生の太鼓の発表を想起し、今年度はどのような演奏にしたいか交流して課題を設定するとともに学習計画を立てる。(2)	○			○昨年度の6年生の太鼓を想起し、自分たちがどんな演奏をしていけばいいのか、交流の中から課題を設定することができる。
二	【情報の収集】 ・自分達の演奏を良いものにするためにどのような情報をどのような方法で集めたら良いか考える。(1) ・昨年度の発表のビデオを見たり、卒業生の話や聞き取りして発表のイメージを高める。(1)	○			○課題を解決するために必要な情報を様々な方法で集め、その中から必要な内容を精選することができる。
三	【整理・分析】 ・調べたことを交流し、どのような練習をしたら良いかを話し合い、練習計画を立てる。(1)	○			○課題意識をもって、練習計画を立てる。
四	【実行】 ・自分達の練習計画に基づいて演奏練習をする。(4)		○		○練習の中で、新たな課題を見つけ、改善しようとする取り組みをしている。
五	【整理・分析】【まとめ・表現】 ・自分達のここまでの練習をふり返り、より良い練習にするための方法を考える。(1) ・外部講師に指導依頼の手紙を書く。(1)		○		○課題を明確化し、課題解決のための手段や方法を考え、見直しをもって取り組んでいる。

一	<p>〈小単元2 輝け！三成小太鼓〉(43時間)</p> <p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師に指導してもらう上での全体の課題と自分の課題を話し合い、決める。(2) 		○	○課題解決に向けて、相手意識を持って、積極的に議論を行っている。
二	<p>【情報の収集】【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師との練習を進めるとともに、練習の様子をビデオでふり返って話し合い、学級として、個人としてより良く演奏する視点や手段をまとめる。(12) 二学期の練習開始にあたって、各パートのリーダーを中心に、通したときの演奏の各部分をより良くする視点や練習方法を話し合い、全体で共有する。(2) 前時の話し合いの内容をもとに、二学期の外部講師との練習を進めるとともに、練習の様子をビデオでふり返って話し合い、学級として、個人としてより良く演奏する視点や手段をまとめる。(4) 	○	○	<p>○よりよい演奏をするための視点や手段をまとめている。</p> <p>○自分たちの課題解決に適した練習方法を考えて発表している。</p> <p>○問題解決に向けて積極的に議論を行っている。</p>
三	<p>【まとめ・表現】【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 敬老会で発表する。(時間外) 敬老会での発表をビデオなどでふり返ってより良い演奏のためにできることを話し合う。(1) 		○	○自分たちの発表活動の成果を整理し、演奏に活かそうとしている。
四	<p>【情報の収集】【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 敬老会での発表をふまえ、外部講師との練習を進めるとともに、練習の様子をビデオでふり返って話し合い、学級として、個人としてより良く演奏する視点や手段をまとめる。(6) 	○		○自分たちの演奏の映像を見て、課題を見つけ、改善する手立てを考えている。
五	<p>【まとめ・表現】【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の祭りで発表する。(時間外) 祭りでの発表をビデオなどでふり返ってより良い演奏のためにできることを話し合う。(1) 		○	○よりよい演奏をするために、自分で、どうしたらよいかを考えている。
六	<p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 演奏の最後の部分である「喧嘩太鼓」の今年の内容を決めるために、どのような方法で情報を集めるか話し合う。(1) 頭を中心に、グループごとに分かれ、演奏のアイデアを収集する。(2) <p>※予想される方法・昨年度のビデオを見る・卒業生に尋ねる・インターネット等を用いてアイデアを収集する</p>		○	◎自分たちのこれまでの演奏での課題の解決や、目標達成のためにはどうしたらいいのかを考え、今後の学習に生かそうとしている。

七	【整理・分析】 ・収集したアイデアを話し合っまとめ、今年度の「喧嘩太鼓」のリズムを創る。(10) ・ビデオなどを用いて自分達の姿を客観視しながらふり返り、課題を見つけて練習に取り組む。	○		○これまでの経験と関連付けて、よりよい演奏をするためにはどうすればよいのかを考えている。
八	【まとめ・表現】 ・学習発表会で発表する。(1)		○	○よりよい演奏をするために工夫して演奏している。
九	【ふり返り】 ・これまでの学習の姿や自分が身に付けた力をふり返りながら話し合い、自分の考えをまとめる。(1)		○	○三成小の伝統を次の代に伝えていこうという思いを振り返りに書いている。
一	〈小単元3 伝えよう！三成小太鼓〉(16時間) 【課題の設定】 ・学習発表会での発表をふり返り、5年生に受け継いでほしいことを話し合う。(2)(本時1/14)	○		○よりわかりやすい引継ぎ式にするためには、どのような手立てを考え、工夫をすればよいのかを考えている。
二	【情報の収集】【整理・分析】 ・5年生に伝えたら良い事柄を考える。(1) ・グループごとに、どのような内容を伝えたら良いかをまとめる。(3) ・他グループと、5年生に伝える内容を交流し、より良いものにするためにアドバイスし合う。(2) ・相互アドバイスを受けて足りない情報を集めたり、伝える内容を推敲したりする。(4)		○	○次の代に受け継いでいって欲しい伝統が何かを明確にし、話し合っている。
三	【まとめ・表現】 ・引き継ぎ式を行い、5年生に受け継いで欲しいことを伝える。(2)		○	○三成小の伝統を継承した一人であるという自覚を持ち、演奏している。
四	【ふり返り】 ・1年間の学習をふり返り、身に付けた力を話し合い、これから身に付けたい力や挑戦してみたいことを話し合う。(2)		○	○三成小の伝統を継承する一人であることを自覚し、次の代につなげていこうという思いを振り返りに書いている。

〈単元出口の意識〉

三成小学校の一員として、伝統を受け継ぎ、さらに伝えることができた。また、総合的な学習を通して、協力して課題を解決する力が身に付いた。中学校の学習でも、お互いに協力しながら課題を解決していきたい。協力することで難しい課題も解決することができそうだ。

4 本時の展開

(1) 本時の目標

【目標】 課題を明確化し、よりよい引継ぎ式になるように内容を選び、決めることができる。



(2) 本時の展開

<p>学習活動 「主な発問」(思考の場) ・予想される児童の反応</p>	<p>◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手だて</p>	<p>評価基準 〔観点〕 (評価方法)</p>
<p>1 前時の学習を振り返る。 「自分たちが、1年間三成小太鼓を取り組んできて、どんなことを学んできたかな」 ・練習の大切さ ・みんなで心をそろえる大切さ ・よく聞き合うこと 「5年生にこの三成小太鼓の伝統を引き継ぐうえで伝えるべきことは何だろう」 ・基本的な叩き方 ・三成小太鼓の歴史 ・演奏の中で特に気を付けたらよい所。 ・どんな点が難しかったのか。</p>	<p>◇前時の学習を想起させ、自分の考えを整理させる。 ◇引継ぎ式で伝えたい項目の確認をする。</p>	
<p>「太鼓引継ぎ式」に向けて、よりよい式にするにはどうしたらいいのかを考えよう。</p>		
<p>2 本時の目標と進め方を確認する。</p> <p>3 個人思考で、引継ぎ式の内容を考える。</p> <p>4 太鼓引継ぎ式をより良くするための式の流れをグループで考える。 ・声出しの重要性を伝えたい。そのためには、実践で示した方が分かりやすいと思う。 ・基本的なリズムを教えたい。みんなで床を叩けば、5年生でも練習することができる。</p> <p>5 話し合ったことを交流する。 ・「基礎」と、「太鼓の叩くコツ」というグループが出来たが、内容が似ているので、どちらかにまとめるか、区別をつけた方が良いと思う。 ・三成小の歴史は、ポスターに書いて説明した方が分かりやすいと思う。 ・雑誌を使った練習は、言葉で言うよりも、実際に使ったものを見せるとより分</p>	<p>◇いままで練習後に書いてきた振り返りノートを用意させ、自分の意見を持てるようにする。 ◇付箋を渡し、5年生に伝えたいことと、効果的な伝え方を書き出させる。 ◆自分の考えが持てない児童には、これまでの学習の振り返りで出てきた課題や成果の項目について読むように伝える。</p> <p>◇個人で書いた付箋をグループで話し合う際に見せながら話すようにさせる。 ◇出てきた付箋をグルーピングし、より重要度の高いものを選び、それにあつた伝え方を考える。</p> <p>◇児童の意見を付箋に模した短冊を使い、グルーピングを板書上で行って行く。 ◇意見を各班から聞いた後、思考を整理する。その際に必ず理由を話させるようにする。</p>	<p>・三成小太鼓の引継ぎ式で、より相手にわかりやすい発表をするためにどのような手立てを考え、よりよい伝え方を考えることができる。 [思考力・判断力・表現力] (話し合い)</p>

かりやすい。		
引継ぎ式で伝えたいことはたくさんある。わかりやすい発表にするためには内容を選ぶ必要がある。		
6 まとめをする。 「今日の学習を振り返ってまとめましょう」	◇友達との「学び合い」について振り返り，本時の学習の自己評価をさせる。	
7 本時を振り返り，次時につなげる。		

(4) 板書計画

